

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	4572000562		
法人名	有限会社すいせん		
事業所名	グループホームすいせん川南	ユニット名	1棟
所在地	宮崎県児湯郡川南町大字川南19415-1		
自己評価作成日	平成23年3月11日	評価結果市町村受理日	平成23年5月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kouhyou.kokuhoren-miyazaki.or.jp/kaigosp/infomationPublic.do?JCD=4572000562&amp;SCD=320">http://kouhyou.kokuhoren-miyazaki.or.jp/kaigosp/infomationPublic.do?JCD=4572000562&amp;SCD=320</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会
所在地	宮崎市原町2番22号宮崎県総合福祉センター本館3階
訪問調査日	平成23年3月30日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

庭が広く、自然環境に恵まれています。お風呂の時間は、利用者様お一人おひとりが、スタッフと会話を楽しみながら、ゆっくりお風呂を楽しんで頂けるような取り組みをしています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

ホームは、田園地帯を開発した新興住宅地に立地し、明るく、環境にも恵まれている。広い芝生にあずまやが設けられ、敷地内の畑も作付けの準備がなされ和やかな雰囲気であった。運営者が遠隔地にいるため、地元出身の管理責任者が地域との関係継続、さらに強化へと努力しているところである。また、調理担当のパート職員を配置することで、介護職員にゆとりが生まれ、ケアの質の向上に生かされている。入浴や就寝前の利用者とのふれ合いの時間を大切に、一人ひとりの思いをくみ取る場として生かすなどの工夫が見られる。職員全員が気配りや明るい笑顔を常に心がけており、利用者の穏やかな表情やふるまいは、職員のケアに対する思いの反映であることがうかがえた。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) ○		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	1棟	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念を3つあげています。ミーティングの時に読み上げ、職員に意識づけを行って、当施設の理念の共有を図り、日々のケアに取り込んでいます。	昨年、旧来のホームの理念を現状のニーズに沿ったものに皆で作り返した。基本理念は3項目あり、やや長い文章であるが、月例の会合などで再確認している。ケアの場面ごとに生かせるように全員で意識している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	毎月、地区で行われている地域ふれあい事業に参加し、地区の方々との交流を図っています。	地域のふれあい事業に参加することや職員が折りにふれて近隣の方々にあいさつするなど、ホームくを知ってもらえるように努力している。新興住宅地でもあり、つきあいが広がり難しい面がある。	例えば、ホームから季節にちなんだ行事を計画し、近隣の方々をお誘いするなど、きっかけ作りを積極的に行うような姿勢が期待される。また、地区会への加入なども有効ではないかと考えられる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎月、地区で行われている地域ふれあい事業に参加したり、運営推進会議の中で呼びかけをしています。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中で、毎回、利用者様の状況、施設のサービスの状況を報告しています。その度にたくさんご意見を頂き、サービスの向上に活かせるよう努めています。	運営推進会議は、年に4回程度のペースで行われており、参加者とホームとの意見交換は盛んである。結果として、緊急時の協力は得られる状況になっている。遠隔地に住む運営者とも連絡をとり、参加できるように調整の努力を行っている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護相談員の訪問を受けたり、毎月、利用者様の状況を報告しています。	行政の担当者とは、定期報告などの機会に意見交換が行われている。また、地域包括支援センターとの交流や介護相談員などの外部の方々とのふれ合いが、ホームへの刺激になっている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベッド柵の利用は、利用者様の状況に応じて対応し、転倒転落防止に努めており、動態感知センサーなどの使用については、本人、家族の了解の下行っています。身体拘束の説明を行い、同意書を頂くように致しました。	身体拘束をしないケアを前提にしており、利用者の安全確保のためのベッド柵が必要なケースは、必ず本人や家族の了解を得ている。昼間は玄関の鍵はかけていない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	介護職の言葉使い等において、問題がある時は、個別指導を行っています。苦情等については、会議の中で取り上げ、話し合い、安心してご利用して頂けるよう努めています。			

自己	外部	項目	自己評価	1棟	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員の一部については、研修等を通して成年後見人制度の理解は出来ています。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	その都度十分な説明を行い、ご理解、ご納得を頂くようにしています。			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しています。本人、ご家族の苦情や要望等については傾聴し、また、ケアサービス担当者会議等でご意見を伺い、管理者・職員に情報提供し、共有を図り、サービスの向上に努めています。		主としてサービス担当者会議において利用者やご家族の意見要望を把握して、運営に反映している。現在、家族会はないが、ホームの行事などの機会も活用し、つながりを強めるように努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主任会議や毎月のミーティング等で、職員の意見や提案を聞き、施設運営に反映させています。		月例の職員会合などで意見や提案を把握している。具体例として、調理担当のパート職員を配置することで全員のゆとりが生まれケアの質の向上につながった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が豊かに、楽しく働けるような環境作りや、条件の整備に努めています。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	特にグループホーム連絡協議会主催の研修会には積極的に参加を勧め、他の研修についても、研修内容を公開し、参加するよう努めています。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会主催の研修会に参加する中で、同業者との交流を図っています。			

自己	外部	項目	自己評価	1棟	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前から顔なじみになれるように、自宅やデイサービス等に訪問し、努力している。同時に本人が困っている事、不安な事、要望等をお聞きするようにしている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前から、自宅に訪問したり、施設を見学していただき、GHの説明や、ご家族の不安や要望をお聞きするように努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前の情報収集において、必要な支援を行えるように努めている。家族と医師との間で薬の服用に関してトラブルがあった為、調整役を務めたことがあった。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の各場面において、出来る事を手伝って頂き、共に行うようにしている。			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様には利用者様の状況をなるべく細かく伝えるようにし、本人様にとってよりよい生活となるよう話し合いを行っている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅にある物や、大切にしている物等、本人様に馴染みの物をなるべく身近に置けるようにしている。	ほとんどの利用者が地元の方であり、顔見知りや近隣の方の来訪が多い。ご家族が遠方の場合には、連絡を密に行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の相性を見極め、必要に応じて職員が間に入る事により、より良い関係になるように努めている。			

自己	外部	項目	自己評価	1棟	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院であれば病院のケースワーカー、特老や自宅であれば担当のケアマネに情報を提供し、今後の対応をお願いしている。時々、機会があれば訪問する事がある。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の意向を引き出し、把握に努めている。本人様にとって、よりよい生活となるように検討している。	ほとんどの利用者は意思表示ができており、寄り添いながら思いや意向を把握している。特に入浴の際や就寝前に気持ちを披れきする場合があるので、職員は意識的にかかわっている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各サービス機関よりの情報、また、家族様本人様よりお話を伺うことで、把握に努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の心身の状態に応じた生活が出来るよう努めている。また、出来る事、出来ない事等、安全を確保しながら試み、把握できるよう努めている。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族には利用者様の現状をその都度報告し、意向等をお聞きしている。医師には受診時に、必要があれば付き添い相談し、現状に即した計画になるよう努めている。	介護計画は、担当職員を中心にしながら全員で作成し、計画作成担当者が仕上げている。モニタリングは月に1回全員で行っており、詳細に記録している。利用者の小さな変化も見落とさないように努め、介護計画につなげている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を個別に行っている。申し送りやカンファレンス等により、情報を共有し、モニタリングにより、介護計画の見直しに活かしている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本の購入を楽しみにしている利用者、月一回付き添って買い物に行ったり、仏壇の線香をあげる支援を行ったり、親族が遠方の利用者が入院された場合の洗濯の援助や、状態把握、家族への報告等を行っている。			

自己	外部	項目	自己評価	1棟	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	月一回の地域ふれあい事業に参加し、地域住民とのふれあいを楽しんでいる。ボランティアの方々に踊りや歌等を披露していただく等交流を持っている。			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様、家族様の希望される、かかりつけ医にて受診していただいている。また、情報を提供し、必要な医療を受けられるよう支援している。	利用者の多くが掛かりつけ医に受診している。外来受診情報書を使い、ホームと医療機関との情報交換を密にしている。月に1度、定期的に薬をもらいに行く際に受診する例も多い。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の変化を報告し、助言を頂く事で、早期に適切な受診や看護を受けられるように支援している。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急入院の際には、出来る限り付き添い、利用者様の不安軽減に努め、情報提供している。どうしても付き添えない時は、情報提供書類を準備している。入院中は、随時訪問し、情報交換に努めている。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化に伴い、早い段階から随時、予測される事やケアの仕方など、家族等と話し合いが出来ている。医療との情報を取りながらGHで出来る事、出来ない事を説明し、本人や家族の希望をお聞きしながら、意向に沿うよう努力している。	重度化に対しては、できるだけ家族等と話し合いを持ち、ケアのあり方やホームのできる範囲を説明している。現在のところは看取りの要請はないが、利用者や家族等の意向には沿うよう努力している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故発生時のマニュアルを作成しており、家族や救急車の要請、他の職員への対応依頼など、連携体制は取れていますが、応急手当等の訓練の実施は出来ていません。			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間もしくは昼間を想定した避難訓練を行い、常日頃からシュミレーションをして、災害に備えるよう訓練を行っています。地元の消防団や、地元住民の協力が得られるよう、地区の班長さんをお願いをしています。	水害の心配はないが、火災や地震への対応は消防署との訓練や消防団との連携を持っている。昨年、スプリンクラーの設置を済ませた。地区の班長の協力も取り付けている。		

自己	外部	項目	自己評価	1棟	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけを行う際には、十分に配慮するように心がけている。他の利用者の方へ聞かれたくない事、また、見られたくない事などは、特に注意をはらうようにしている。		利用者を人生の先輩として全員が意識して接している。言葉掛けや日常の小さな対応にも気を配っている。人格尊重やプライバシーの確保は、日常の積み重ねが大切と考えケアを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に本人様が、今何を望まれているのかを聞き、また、考えながら言葉かけを行っている。物事を行うときに本人様に確認をし、ご自分で決めて頂くように努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活の各場面において、声かけを行い、その方の意思を尊重するように心掛けている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洗面所で、歯磨きや口腔ケアを支援している。髪をセットしたり、手にはハンドクリーム、顔には化粧水をつけるなど、その人らしい支援を行っている。パジャマへの更衣もやっている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの利用者に合わせながら、料理の下ごしらえや、お盆やお箸を配る等の準備、食器を洗う等の後かたづけを、職員と一緒にさせて頂いている。		一人ひとりの好みに合わせた量への配慮やさりげない支援により、利用者は穏やかに自然に食事を楽しんでいる。利用者のできることは少なくなっているが、可能なことは手伝っていただいている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分は一日1リットルはお勧めし、発熱や運動など一人ひとりの状態に応じて、提供している。また、血液検査や毎月の体重測定結果を把握し、低栄養状態の防止に努めている。疾患に伴う食事療法にも、病院の栄養指導を受け、出来る限りの事を行っている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後には、口腔ケアを支援している。			

自己	外部	項目	自己評価	1棟	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	食前食後のトイレの声かけや誘導を行っている。また、個人的にトイレのサインを読み取り、早めの声かけを心掛けている。昼間に失禁がない利用者様は、紙パンツから、布パンツに変更している。		定期的な声掛け誘導や身振りによる読み取り等で、早めの対応に心がけている。また、綿密な記録による排泄パターンの把握によって、自立の方向への変化事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日牛乳を提供し、野菜を多めに摂取していただいている。下剤はなるべく少なく済むように、反応便の様子を観察し、調節をしている。			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日を増やし、一人ひとりの希望や体調に合わせて、ゆっくり入浴を楽しめるように支援している。		基本的には入浴日を決めているが、可能な限り柔軟に対応している。お風呂場はコミュニケーションの場であり、個人の意向や本音を聴くことができる機会でもあるので、大切に考えている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	皆さまの個性に合わせ、日中散歩や入浴で穏やかに過ごして頂き、夜間は良く眠れるよう努めている。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの体調を常に申し送りノートや記録の確認を行い、「情報提供書兼指示書」を通して、医師との連絡が正確に出来るように努めている。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	リハビリ体操や口腔体操を毎日行い、天気の良い日は庭に散歩に出ている。塗り絵や工作も行っている。窓辺に花や野菜を置き、水やりを日課としている利用者もいる。			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日の散歩や、職員付き添いでの本屋への買い物支援している。また、家への一時帰宅を稀ではあるが、援助している。家族による外出、外泊も行われている。		天候のいい時には2～3名で散歩をしたり、買い物にいたりしている。全員での外出は難しくなり、2～3名ずつでドライブや外出をする外出支援を行っている。ご家族の協力による外出や外泊も時には行われる。	



自己	外部	項目	自己評価	1棟	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で所持されている方はいないが、希望される時は、いつでも一緒に買物に行けるような支援をしています。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいというご希望があれば、時間帯等を考慮した上で対応している。			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温、湿度管理を行っている。季節の飾り付けを行い、季節を感じて頂いている。		共用空間の居間は、景色もよく明るい。家具や調度品も落ち着きがあり、穏やかな雰囲気を感じている。飾りつけ等も節度を感じられ、居心地よく、トイレや浴室にも気配りが感じられた。西の窓は、夏にはニガウリの葉で日よけをする工夫が見られる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルには個々に椅子を用意し、座っていただいている。それ以外に、ソファを二つ用意し、TVを観たり会話されたりされるように工夫をしている。			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具や、TV、本人の衣類等を置き、好みのテレビ番組や好きな本を読んだり、衣類の片付け等をして頂いている。		居室は簡素であるが機能的で、必要な調度品や個人の持ち物もある。利用者に応じて手すりが設けられている。エアコンも設置され、居心地への配慮が見られた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所が分かるように各部屋、トイレ、洗面所などに名前を付けている。危険性のある物は目に触れない所に直したり、各自の動きによって、センサー設置にて安全を確保している。			